

令和四年二月十九日(土) 開場:十四時 開演:十五時(十七時三十分終演予定)

「ウエルカムワインで始まり、トークを楽しみ、そしてティータイム」

# Hanashi 新の no らん Salon

テアトロ・ガルロチ  
プランニング／三遊亭竜楽 プロデュース／亀和夫  
料金／一万円(ウエルカムワインと軽食、オリジナルフレイバーティー、御菓子代を含む)  
限定六十五名様(全席指定)

当イベントでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、十分な感染対策を行っております。  
緊急事態宣言等でアルコールの提供ができない場合、延期とさせていただきます。



興水泰弘

【脚本家が語る  
～“相棒”の秘密～】

○チケット予約  
オフィスまめかな  
tel:03-5447-2215  
(平日10:00～18:00)  
mail:ticket@mamekana.co.jp



ステファン  
ダントン

【フランス人による  
日本茶セミナー】



檜山うめ吉

【“俗曲の美女”  
ここだけのお・は・なし】



三遊亭  
しゅりけん

【前語り】



三遊亭竜楽

【ご案内役／お江戸とふらんす】

地中海料理&ワインShowレストラン  
“ガルロチ”

**GARLOCHÍ**

靖国通り	
<b>GARLOCHÍ</b> ISETAN KAIKAN	
紀伊國屋書店 新宿本店	○ ISETAN
○	● 東京メトロ 新宿三丁目駅 B5 出口

← JR 新宿駅  
東京都新宿区新宿3-15-17 伊勢丹会館6F  
新宿駅東口より徒歩5分

Hanashi no Salon

# 噺のサロン

について

Profile

## 《輿水泰弘》 脚本家／埼玉県さいたま市出身

大阪芸術大学文芸学科卒業後、コピーライターを経て脚本家に。数多くのドラマ・映画・舞台の脚本を手がける。

ことにテレビ朝日の大ヒットドラマ「相棒」は、プロデューサー松本基弘が輿水を指名し、スケジュールが空くのを一年待ってスタートした企画であり、水谷豊が演じる“杉下右京”のキャラクターも輿水が作り上げた。現在もメインライターを務めている。

芝居・コンサート・演芸など多方面の芸能鑑賞が趣味。時折“三遊亭こたつ”の名で高座に上がる。

2015年、第23回橋田賞受賞。

【作品】テレビドラマ：『遠山金志郎美容室』（日本テレビ）、『小児病棟・命の季節』（テレビ朝日）、『恋のバカンス』（日本テレビ）、『相棒シリーズ』（テレビ朝日）、『名古屋仏壇物語』（NHK）、『菊次郎とさきシリーズ』（テレビ朝日）など。

映画：『旭山動物園物語-ペンギンが空をとぶ-』、『相棒-劇場版II-警視庁占拠！ 特命係の一番長い夜』、『相棒-劇場版III-巨大密室！ 特命係 絶海の孤島へ』 舞台：『Wブッキング』、『菊次郎とさき』他多数。

## 《桧山うめ吉》 俗曲師／倉敷市生まれ

1993年 （社）落語芸術協会、お囃子連として6年所属後、俗曲師として修行

2000年 桧山さくらの弟子「桧山うめ吉」として高座に上がる。

2006年 テキサスSXSWフェスティバルに招聘され、米国5都市8カ所のコンサートツアーを敢行。以後、積極的に海外公演を行う。

三遊亭竜楽のヨーロッパツアーにも数年に渡り参加。パリ、ニース、フィレンツェ、ジュネーブなどを廻った。

2015年 NHK木曜時代劇「まんまこと」レギュラー出演

2019年 国立演芸場にて「うめ吉の会 一の巻」開催。

著書「俗曲師うめ吉のっぽんしましよ」（毎日新聞社）

CD・DVD多数。2012年福武文化奨励賞受賞。

初代「くらしき観光大使」。今回は倉敷市の老舗和菓子店 橘香堂より“うめ吉おすすめ”の逸品が登場。

## 《ステファン・ダントン》 株式会社おちゃらか 代表／フランス・リヨン生まれ

リセ・テクニク・ホテル・グルノーブルにてホテル経営を専攻。1985年の卒業時にソムリエの資格を取得。

1992年に来日後、紅茶専門店やブライダルコンサルタント業界で勤務をしながら、日本茶の可能性を切り開くための勉強を始める。

2002年、川根本町との出会いをきっかけに、日本茶専門店の開店を決意。

2005年、東京・吉祥寺に「おちゃらか」開店（現在は日本橋人形町に移転）。川根茶を中心とした日本茶および日本茶ベースのオリジナルフレーバーティーの開発・販売をおこなう。

2008年、スペイン・サラゴサ国際博覧会・日本館の公式飲料として「サラゴ茶」を提供したことをあしかりに、在日フランス商工会議所主催のイベントへの協賛、静岡県を中心とした地方自治体との共同事業などを通じて、日本茶の新たな可能性を開拓し続けている。新商品「インスタントエキスパウダー日本茶」が絶賛発売中。

今回は、倉敷市橘香堂の御菓子里にダントンオリジナルのフレーバーティーをマリアージュする予定。

## 《三遊亭竜楽》 落語家／群馬県前橋市生まれ

中央大学法学部卒業後、故五代目三遊亭円楽に入門。1992年真打に昇進。落語三遊派の正統的話芸を受け継ぐ。国立演芸大賞銀賞などを受賞。

2008年のフィレンツェ・ジャパンフェスティバルをきっかけに海外での現地語口演を開始。現在までにヨーロッパ・アメリカ・中国・台湾の55都市を訪れ口演を行う。日本語に加え、英語・仏語・伊語・独語・西語・ポルトガル語・中国語の8ヶ国語で語る国際派落語家。

2016年には、パリ日本文化会館で落語と浮世絵のコラボレーション「RAKUGO／UKIYOE～伝統と現代の出会い～」を開催。

グローバルな活動は、WOWOWの看板番組「ノンフィクションW」や世界2億8千万世帯が受信するNHK WORLDの「Direct Talk」で特集された。

「落語歳時記 らくごよみ」（朝日新聞）、「三遊亭竜楽の七ヶ国語RAKUGO」（CD・DVD）などを発売。

2020年2月《三遊亭竜楽の和菓子チャンネル》でYouTuberデビュー。前橋市観光大使、中之条観光大使。

「噺のサロン」は、“東洋一のフラメンコレストラン”として名高いガルロチが、ダンスショーを超えた様々なイベント展開を図る中で生まれた新たな試みでございます。

2014年のフランス公演ツアーの折に訪れたパリの“語りを聴くカフェレストラン”にヒントを得て、語りを楽しみながら豊かな時を過ごしていただく大人の社交場を提供したいとの思いで考案いたしました。

江戸落語が文化人の集まりから始まったことを踏まえて、知的好奇心を刺激する語り手の方々を集め、文化の香り高い娯楽の空間を提供すべく舞台を構成。落語会の雰囲気とは一線を画し落語家も座布団に座らず立って口演いたします。

ウェルカムドリンクでお迎えして、地中海料理のワンプレートを召し上がりながら、ゆったりとトークを楽しんでいただき、スペシャルティーと和菓子のマリアージュで締めくくるといふ、「噺のサロン」でしか味わえない“贅沢なひととき”をお楽しみいただけたら幸いです。

三遊亭竜楽